

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

・ 合同講演会の開催	P 1
・ 自治体総合フェア 2013 に出展	P 3
・ 下水道大島幹線等見学会の開催	P 4
・ 機構の活動状況	P 6

§ 合同講演会の開催

今年度第1回目となる都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会及びアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による合同講演会を、5月17日（金）都市計画会館において開催いたしました。本講演会は、国土交通省・都市局の関係各課から講師をお迎えし、毎回ホットなテーマに関してご講演を頂いております。今回は、街路交通施設課・整備室長の河野 俊郎 様をお迎えし、『都市交通システムの海外展開』と題して、海外展開の必要性、日本の強み、具体的な海外展開の状況等の都市交通システムの海外展開に関して幅広くご講演をいただき、質疑応答も活発に行われ会員の皆さまの関心の深さが窺えました。

以下はご講演内容の概要です。

講演内容の概要

■なぜ「海外展開」を推進するのか

- ・ 新興国等の成長を取り込む
- ・ 人材力を高め、組織の活力を維持する上で有効なフロンティア
- ・ 将来にわたって繁栄を享受し世界で尊敬される国であり続ける

■国土交通省での取り組み

- ・ 進出企業への支援ツールと政府サイドの支援体制整備



- 政官民一体となったトップセールスの展開、省庁横断的な体制の創設や強化、企業の人材育成や組織強化に対する支援
- 日本の技術・規格の国際標準化
- インフラファンドによる投資支援や信用補完、ODA 予算の活用や貿易保険、税制面での支援
- ・官民連携の協議会の設置
- ・有識者懇談会の設置
 - 15 の具体的施策

■具体的な展開状況

- ・インド（モノレール、LRT 等）
- ・インドネシア（新交通、結節点整備等）
- ・タイ（高速鉄道沿線開発、モノレール等）
- ・ペルー（モノレール）
- ・シンガポール、ベトナム
（機械式立体駐車場）
- ・パナマ（モノレール）

■今後の展開に向けた取り組み

- ・モデルとなるプロジェクトの推進
- ・各国の制度（用地の権利関係等）の問題への取り組み
- ・BRT の海外展開

なお、本講演会の資料は都市みらい推進機構のホームページ（www.toshimirai.jp）の「会員ライブラリー」に掲載してあります。

本シリーズについては、皆様からのご意見・ご要望をお聞きしながら、国土交通省・関係各課にご協力の下、これからも皆さまのニーズに対応したタイムリーな講演会を進めて参ります。





§ 自治体総合フェア 2013 に出展

“安心と活力ある地域社会の実現～協働・情報・減災～”をテーマに、「自治体総合フェア2013」（主催：一般社団法人日本経営協会主催、後援：国土交通省・経済産業省・総務省・他、協賛：当機構・他）が、5月15日（水）～17日（金）の3日間、東京ビックサイト西3展示場で開催され、当機構も昨年に引き続き出展いたしました。



自治体総合フェアは、自治体経営の革新を推進し安心で豊かな魅力ある地域社会の実現のために、公民連携により、全国自治体が抱える自治体経営の革新・業務の効率化・合成サービスの向上を構築することを目的に開催され、今年で17回目となります。

展示は、「電子自治体・地域情報化」、「災害対策・危機管理」、「健康・福祉・介護」、「環境・エネルギー」、「地域活力・まちづくり」を中心とした5つの【展示エリア】と、主催者企画として緊急課題や最新技術を提案する「特別展示」、「自治体トピックスエリア」、官公庁の施策や全国自治体による情報発信を展示する「行政展示」で構成され、当機構は「自治体トピックスエリア」の「住民視点の公共施設改修とマネジメントコーナー」の1画に出展し、全国の自治体・NPO・民間企業関係者等の方々と、まちづくりに関して様々な意見交換をさせていただきました。

会期3日間の来場者数は10,660人でした。（主催者発表）

【展示パネル】

◇幅広いまちづくり支援

機構の特色、支援体制、全国に展開する調査活動、まちづくり情報交流コーナー

◇都市再生整備計画事業制度支援

社会資本整備総合交付金制度、まちづくり交付金情報交流協議会

◇エリアマネジメントによるまちづくり

基本イメージ、先進事例紹介

◇まち交大賞

受賞地区紹介、まち交ネット

◇土地活用モデル大賞

模範的土地活用事例の表彰、表彰プロジェクト（国土交通大臣賞、他）紹介





§ 下水道大島幹線等見学会の開催

去る3月29日、東京都下水道局発注、鹿島建設(株)が施工中の東大島幹線及び南大島幹線その2工事の見学会が関係者のご協力を得て、11名が参加して開催されました。

はじめに、工事事務所の会議室におきまして、工事の概要について東京都下水道局第一基幹施設構築事務所の宮崎さんから、施工の概要について鹿島建設(株)の大島幹線工事事務所の大瀧さんから、それぞれ説明を受けました。

東大島幹線は、江東区及び江戸川区の一部の雨水を収容する東大島幹線と江東区の一部の雨水を収容する南大島幹線を施工するものです。

工事件名は東大島幹線及び南大島幹線その2工事(工期は平成22年10月28日～平成26年3月10日)、施工場所は江東区大島5、8、9丁目、江戸川区小松川1丁目、江戸川区小松川1丁目の小松川第二ポンプ所内を発進基地として、江東区大島九、八、五丁目を通過し、約1.5km程度進んだ区道と丸八通りの交差点までが工事範囲となります。



下水道局宮崎さんからの概要説明



工事事務所の大瀧さんから説明





南大島幹線は、区道が一方通行道路で幅員 5.7m ～ 8.0m と狭く、沿道は公園、学校、マンション、及び一般住宅等が立ち並んでいますが交通量は多くありませんが、丸八通りは、両側歩道付きの幅員 30m で、沿道には団地、商業ビルが立ち並び交通量が多くなっています。

シールド一次覆工は全路線昼夜間施工、特殊泥土圧式シールド工法（子機内蔵型・中折れ式）を採用しています。

工事内容は、6,000mm 特殊泥土圧式シールド工法、延長は 705.20m（二次覆工一体型延長 547.75m、一次覆工延長 157.45m）、4,500mm 特殊泥土圧式シールド工法、延長 831.25m（二次覆工一体型延長 784.80m、一次覆工延長 46.45m）となっています。

今回採用した親子シールドは、径の異なるトンネルを築造するため、シールドマシン親機に子機を内蔵させており、地中で子機を分離し、再発進することが可能となっています。

工事の主な特徴は以下の通りです。

- ・親子シールドマシンの親シールドマシンは、子シールドマシンをあらかじめ内蔵した親シールドマシンで、シールドマシン外径は ϕ 7,100mm、シールドマシン長は 13,315mm、急曲線施工が可能のようにマシン前胴を首振りできる中折れ機能（最大：左 8.3"、右 6.9"）を有しています。また、特殊高圧噴射攪拌杭（Do-Jet）の施工を行うためにカッター前面には超高圧噴射ノズルを配置し、マシンセンター部には、油圧・超高圧ジェット・スラリーが入る複合スイベルを装備しています。また、子シールドマシンは、シールドマシン外径は ϕ 5,340mm、急曲線施工が可能のようにマシン前胴を首振りできる中折れ機能（最大：左 6.5"、右 11.0"）を有しています。地中で親シールドから子シールドを分離し、再発進します。親シールド同様に、特殊高圧噴射攪拌杭の施工を行うため、超高圧噴射ノズル、複合スイベルを装備しています。

環境対策では、以下に示す取組みを実施しています。

工事で使用する照明の中でもっとも消費電力が大きし、水銀灯（750W）25 台を同等の明るさの LED 照明（95W）25 台に替え、電力量を 87.3% 削減している。

下水汚泥焼却灰をふるい分け、粉碎処理した物です。これをコンクリート製品の材料として利用する事により、廃棄物のゼロエミッション活動に貢献している。

シールド工法 + DO-Jet 施工 + 親子分離工を採用してトンネル築造を行うため、路上作業を抑制している。



発進立坑部からトンネル入口部状況



トンネル坑内（曲線部から直線部へ）



§ 機構の活動状況

日	3月	日	4月	日	5月
29	第8回まち交大賞審査委員会			10	まちづくり情報交流協議会 監査
				15~17	自治体総合フェア 2013 出展
				17	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会
				22	日経 BP 社意見交換
				30	まちづくり情報交流協議会 企画運営委員会
				31	土地活用モデル大賞第1回審査委員会

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

1	内閣府藤山参事官打合せ	1	日建打合せ	8	日本テレビ取材バンキシャ
1	NHK 打合せ	2	八重洲地下街打合せ	9	千代田区打合せ
1	広島 WG	2	NHK 打合せ	12	日本テレビ取材バンキシャ
5	国交省(地下街)打合せ	4	三井共同打合せ	13	フジテレビ取材
6	千代田区受託打合せ防災研	8	広島 SWG	13	地下研リーダー会
7	NHK 番組収録	8	日建打合せ	14	フジテレビ 特ダネ、国交省打合せ
13	千代田区打合せ	9	千代田区地図作成打合せ	14	虎ノ門コンサル打合せ
13	防災研打合せ	10	NHK 打合せ	16	オリコン打合せ
14	定例懇話会	11	八重洲幹事会	17	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会。 エンジニアリング協会打合せ
15	地下利活リーダー会、名古屋 SWG	11	朝日新聞打合せ	20	企画委員会・企画小委員会合同会議
19	下水道推進機構委員会(地下街ゲリラ豪雨対策)	15	日経打合せ	20	八重洲・京橋・日本橋分科会
19	千代田区打合せ	15	千代田区打合せ	27	千代田区打合せ
25	地下防災勉強会	15	新宿 SWG	27	取材 旅と鉄道
26	大丸有地区調査三菱地所ビルマネ中間報告	16	土木学会地下シンポ委員会	29	地下研監査
27	千代田区打合せ	19	三菱地所打合せ	30	建設設備協会打合せ
29	見学会	19	エックス打合せ		
		22	企画運営小委員会		
		23	建設設備協会打合せ		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

				8	監事監査
				10	技術研究発表委員会
				15	技術交流部会及び展示委員会 企画運営部会
				17	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会

《まちづくり情報交流協議会》

29	第8回まち交大賞審査委員会				
----	---------------	--	--	--	--

(一財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6
 プラザ江戸川橋ビル201号
 電話 03-5261-5625
 FAX 03-5261-5629
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他